

平成 21 年 11 月 12 日

各 位

上 場 会 社 名 浜井産業株式会社
代 表 者 代表取締役社長
井上 忠
(コード番号 6 1 3 1)
問合せ先責任者 常務取締役経理部長
山畑 喜義
(TEL 03 - 3491 - 0131)

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 5 月 14 日に公表した業績予想および配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成 22 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|------------------------------|--------------|------------|------------|-----------|-----------------|
| 前 回 発 表 予 想 (A) | 百万円 6,000 | 百万円 220 | 百万円 140 | 百万円 70 | 円 銭 2.15 |
| 今 回 修 正 予 想 (B) | 4,000 | △400 | △425 | △241 | △7.41 |
| 増 減 額 (B-A) | △2,000 | △620 | △565 | △311 | — |
| 増 減 率 (%) | △33.3 | — | — | — | — |
| (ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期) | 8,599 | 314 | 230 | 17 | 0.55 |

(2) 修正の理由

金融危機に端を発した世界的な景気後退は、中国を中心とした新興国の経済成長により、最悪期は脱したものの、欧米を中心に経済の先行きは、不透明な状況が続いております。また、自動車産業に見られるように製造業の設備投資抑制は継続しており、工作機械業界は厳しい受注環境が続いております。

当社の主要な顧客であります電子・電機関連業界も、政府のエコポイント政策等の緊急経済対策の効果もあり、一部顧客の在庫調整も進み、設備の稼働率は上がってきておりますが、新規の設備投資には、計画はあるものの時期は先送りという慎重姿勢が、続いております。したがって、当初想定しておりました受注計画が、大幅にずれ込む見通しとなりました。この結果、売上高も落ち込むことになり、上記の通り業績予想を修正いたします。

2. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

| | 1株当たり配当金 | | |
|------------------------|----------|----------|----------|
| | 第2四半期末 | 期末 | 合計 |
| 前回予想 (平成21年5月14日発表) | 円 銭 — | 円 銭 — | 円 銭 — |
| 今回修正予想 | — | 0.00 | 0.00 |
| 当期実績 | 0.00 | — | — |
| 前期(平成21年3月期)実績 | 3.50 | 0.00 | 3.50 |

(2) 配当予想修正の理由

当社は、「業績・収益状況に対応した配当の実施」を目指し、業績に応じた株主のみなさまへの利益還元を積極的に行うことを配当の基本方針としております。従来、当期の期末配当につきましては、通期業績について見極めるため、未定としてまいりましたが、上記通期業績予想の修正にありますように通期の収益見込みも、厳しい受注環境を受け、最終利益が赤字の見込みであります。

したがって、期末配当(予想)につきましては、誠に遺憾ではありますが、見送りとさせていただきますことにいたしました。

この業績予想の修正および配当予想の修正を経営陣は、重く受け止め、3月より実施しております取締役、監査役の月額報酬の10%減額をさらに9月より15%~25%の減額に変更し、また役員賞与の見送り、管理職給与の一部減額等様々な固定費削減策を実施中であります。

今後さらに、一層の業務の効率化、経費の削減等を進めると同時に、新規受注獲得に注力し、業容の拡大、収益の確保に努めてまいります。

※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上